

学校現場では学習者用端末のメンテナンスが重荷に！

困ったときにすぐに対応してくれる支援員の配置を申し入れ！

Part1 に引き続き、「学校 ICT 化に関するアンケート」の回答を掲載します。

※→明朝体表記は市教組の見解です。

1. 教職員用 PC や周辺機器に関すること

周辺機器

- 年度始めのデジタル教科書の設定やソフトウェアの申請に時間が取られる。
- 後付けの DVD 再生機など、ケーブルがすぐにダメになる。校費の負担が増えている。
- 印刷がすぐできなくて、作業するのに負担が大きい。
- カラーレーザープリンターが 2 台とも昼間部の職員室や旧パソコン教室に設置されることになり、夜間中学で使用するには出力したものをわざわざ昼に取りに行かなければならない。
- 写真をカラーでプリントアウトできないのが不便。
- 教職員の人数・児童数にかかわらず、プリンターが基本、管理職 1 台、教職員がコピー機 1 台では、故障等を考えると何も考えずに配置したとしか思えない。
- ネットワーク環境を整えていただいたのはいいが、配線等の維持・点検は各校に任せられており、学校によってはケーブルの断線等で物理的なネットワーク障害の原因になっている。
- カメラ不具合で外付けカメラにしているのが 32 台中 3 台と 1 割近い不良品率である。
⇒修理対応中だそうです。
- HDMI コード等、少し機材がそろっていない。
- 教室でつなぐケーブルやそれに付随する物品を、校費ではなく委員会から支給してほしい。HDMI、延長コード、タイプ C の交換アダプター等、消耗品が多く、購入の手間や校費の予算計上などが大変である。
- 教室にプロジェクターはあるが、画面の美しさでいうとモニター（電子黒板）の方がいい。
- 教室にプロジェクターとモニターの 2 つを配置してもらえるとありがたい。

その他

- PC を使っていくのは当たり前になりつつある。

- 授業用のタブレットがほしい。タブレットのカメラで児童のノートをディスプレイに映したり、ノートやプリントを表示して記入場所を示したりできる。
- 教職員用に学習者用端末がないため、生徒が使用するときには教え方が分からない。
- USB が使えない事に不便さは感じるが、他は特になし。
- 新しい PC の CPU が CORE i 5 から CORE i 3 にグレードダウンし、学習系と校務系を同時に使うとワードやエクセルで表示や入力に時間がかかるようになり、改悪となった。
- メリットは教室で校務用の仕事ができるようになったこと。デメリットは毎日、職員室と教室の間を持ち運びようになり、階段の上り降りなどにおいて危険が増えた。また、仕事が全て教室でできるため、職員室での教職員間の交流機会も減った。
- PC 持ち運びに不安。2 台ほしい。
- 事務では便利な部分もあると思う。PC にしぼられている現状のような気がする。
- 取捨選択できる余地がないことが問題で、根本的に教職員本来の仕事が十分できないのが残念。若い世代の人たちが、満足感を仕事で得られているかどうか分からない。
- 教材研究しやすいように、24 時間使えるようにしてほしい。
- 時短の教員と講師で 1 台の PC のため、打合せ時に PC を使う時や、使用したい時間が重なった時に不便である。SKIP での出席簿処理など、PC を使うことが増えたので、1 人 1 台にしてほしい。
- 非常勤時間講師が 4 月 3 日に転勤してきたところ、教職員用 PC が配置されていなかった。デジタル教科書を使って授業しなければならぬので、教頭先生にお願いして配置してもらった。非常勤であっても当初から配置してほしかった。
- システムが毎年変わる。変更の度に方法も変わり、慣れない上にスムーズに動かない。
- 通信料の負担を個人持ちにしている部分を改善できないのか？

2. 学習者用端末に関すること

回線

- クラス全体で一人ひとりがインターネット上で動画視聴が

スムーズに行えるほどの回線強度がほしい。

- 伝送速度に遅滞を感じる。強固かつスピードの速いネットワークにしてもらいたい。
- 一斉に使用するとスピードが遅くなる。
- クラスで一斉に作業を始めても、必ず動作不良を起こす生徒がおり、そのフォローができない。
- 学習者用端末の調子が悪い時（固まる、入力できない等）に担任が対応しないといけなくなる場合があるのが非常に大きな負担。
- 40 人が一斉に立ち上げると 1～2 台はネットの不具合が生じる。
- 一斉にタブレットを立ち上げると、なかなか立ち上がらないことがある。
- 型が古く、ネットに接続できない、動きが遅いなどの事象が非常に多い。
- ネットワークへの接続が急に切れたり、つながらなかつたりする端末が多い。特に 3 年以上使用している端末でよく起こる。
- マシにはなったが依然として Teams は動作が非常に遅く、生徒も教員もイライラすることが多い。
- 不具合が多すぎて使う気になれない。児童から「つかない」「〇〇の画面が出る」「ネットにつながらない」など、一つ一つ対応している時間が惜しい。
⇒回線に関する問題はヘルプデスクに TEL して下さい。

インターネット

- サイトのブロックが厳しく、調べる学習の際に時間がかかってしまう。閲覧できるサイトがもう少し増えればやりやすくなると思う。
- 個々に調べ学習などをやる際、個々に動画を再生すると音が重なって聞き取れなくなるため、ヘッドホンまたはイヤホンがほしい。
- インターネットにおいて子どもたちに見てほしいところがほとんどブロックされる。そのたびにブロックの解除申請が必要ですぐに使えない。
⇒Part1 でも紹介しましたが、ヘルプデスクに解除申請をして下さい。大阪市全ての学校で見れるようになります。

【裏面に続く】

リテラシーの必要性

- 児童／生徒がセキュリティを突破できるようなことはないのか不安。リテラシー教育こそ急務（子どもだけでなく大人も含めて）。
- ルールを守って使用する分にはとても便利で使いやすいが、ひとたび大人の目を盗んだり抜け穴を探してくるものについては、対応しきれないことがあるように思う。
- 学習者用端末でゲーム、YouTubeが自由にできるので、生徒に使わせにくい。
- パソコン中毒のような症状の児童もいるので、休み時間は基本触らせないようにしている。
- 「休み時間は使わない」が本校のルールとなっている。ゲームなどが入っていて、教員が休み時間まで管理できないため。
- 子どもが見ている画面を教員が把握できるようにしてほしい。
- 子どもたちはプログラミングのアプリで学習しているというより、他人が作成したゲームをずっとしている。
- プログラミングの学習と称してゲームをしている、外部の人とつながる、授業開始のチャイムが鳴ってもやめようとしない…などの課題があり、「学習者用端末を使う時のルール」（低学年用1～3年、高学年用4～6年、裏面に保護者向け）を決めて配付している。

故障・メンテナンス

- タブレットのカメラでQRコードが読み取りにくい。学テのアンケートなどでの不具合も多かった。
- 故障が多い
- 元々、コロナ禍対策用に急遽、性能の低いタブレットPCを使用しているので、今後、故障が多々出てくると考えられる。メンテナンスも含め、予備用なり、すぐに保障されるかどうか疑問が大いにある。
- 子どもの扱いが乱雑なので、ボタンがとれていたり、接触不良などの不具合も多く発生しているのが現状。
- 丁寧に使っていたとしても、不具合が生じるため修理しなければいけないものが増えたり、予備台数が足りなくて困っている。
- 端末はどうしても故障がおきるのは仕方ないが、代替がない状態が多くて困る。（予備機がない）
- タブレットのキーボードと本体画面のつなぎ目の破損（故意ではなくつぶれやすい）が多い。
- 故障したときの代替機の予備がない。ただでさえ持ち帰り

して故障しやすいのに、とても困る。

- 小学生は適切に使うことが難しく、故障機が出て予備がほとんどないので、専科の先生の分が取り上げられてしまう現状がある。
- 故障→回収→再配置のサイクルを早くしてほしい。
- 700台のPCのメンテナンスから故障報告、モバイルルーターの貸出し、不具合の修理、バージョンアップの確認、転出入児童の機材の記録の修正、無線ルーターの不具合。教育情報ネットワークポータルサイトでPCの管理ができるというが、使用者の個人名が入力できないので使い物にならない等、あまりの事務量の多さに、教職員の役割ではない。ICT支援員にこれをしてもらおうとしても、月2ぐらいでは説明するだけで終わってしまう。それにICTの人には教室での授業の支援に入ってもらっているので頼めない。
- 端末を管理する専門の方がいないと、とても大変。本校では今年度から担任が管理することになったが、できるだろうか…。
- 夜間と昼間の人数を勝手に合算して学級数を算出しているのに、学級数分の予備機の配置が不足している上に、昼の不登校生徒に持ち帰らせている端末や故障した端末などの関係で、夜間の学習者用端末を長期間貸し出すという事態が起きている。
- Wi-Fiやルーターも色々な種類のものをパラパラ送ってこられて、管理しきれない。
- 入学時に購入、各家庭で管理ではだめなのか？学校で全てを司るのは無理がある。
- プロファイル削除や、ややこしい作業が負担である。
- どの児童が使用しているPCか管理しづらい。
- アップデートや破損時の対応などの業務が増えている。
- アップデートが大変過ぎる
- 「更新してください」と言われても、できたかどうかわからない。⇒故障時についてもヘルプデスクの対応となります。メンテナンスに関しては、「素人ができることではない」と申し入れを行いました。
- 専用ペンがないため、ナビマ利用時の手書き入力が非常に使いにくい。
- ひらがなをなぞる学習は、タッチペンもないので親指で書いている子もいた。また、うまくなぞれていても反応せず、イライラしている子がたくさんいた。
- 低学年はローマ字をまだ習っていないので、タッチペンで入力できたらいいなと思う。

⇒タッチペンは校費で対応している学校もあります。

- パワーポイントでスライドを作らせる場合などはマウスがないと操作が非常にやりにくく、ストレスがたまる。

充電・保管庫

- 保管庫から充電アダプターを取り出すのが大変。学校に持ってきたアダプターをつけるのも大変。
- 充電ケーブルをPCラックから全て外すことがものすごく手間。自宅持ち帰り用が支給されれば、活用上のメリットとなる。
- 持ち帰り用の充電器がほしい。⇒新しく更新した分には、充電アダプター付で学校に配達されていると思います。
- 充電保管庫が充電されていないことが多々あり、分からないから電話をしても、説明書を送るので自分でやってくれと言われるだけだった。説明書見て分かるぐらいなら、とっくにやってるわ…と思いつつ、いまだに充電されないところがあり、どうすることもできずに困っている。
- 充電用のワゴンが使い勝手が悪すぎる。充電されていない場合もある。⇒マニュアル通り使用して、充電ができていなければ保管庫自体の故障が考えられます。
- 生徒が充電してないことがある。
- 保管庫の出し入れ口扉が華奢。（ちょうつがい破損し、修理依頼中）
- 1年生が1クラス41人だったときに、1台のタブレット収納庫だと出し入れに時間がかかり、こまめに扱うのはむずかかった。20台用を2つにする等、自由度がほしい。

学習者用端末について、怒り・お困りの声はまだまだ続きます。次回発送のPart 3では、今回掲載できなかった意見の続きと、「心の天気」や「ミマモルメ」などのアプリも含めた運用面について、紹介します。